

三宝寺池の現況と 東京外かく環状線について

1. 三宝寺池の現況

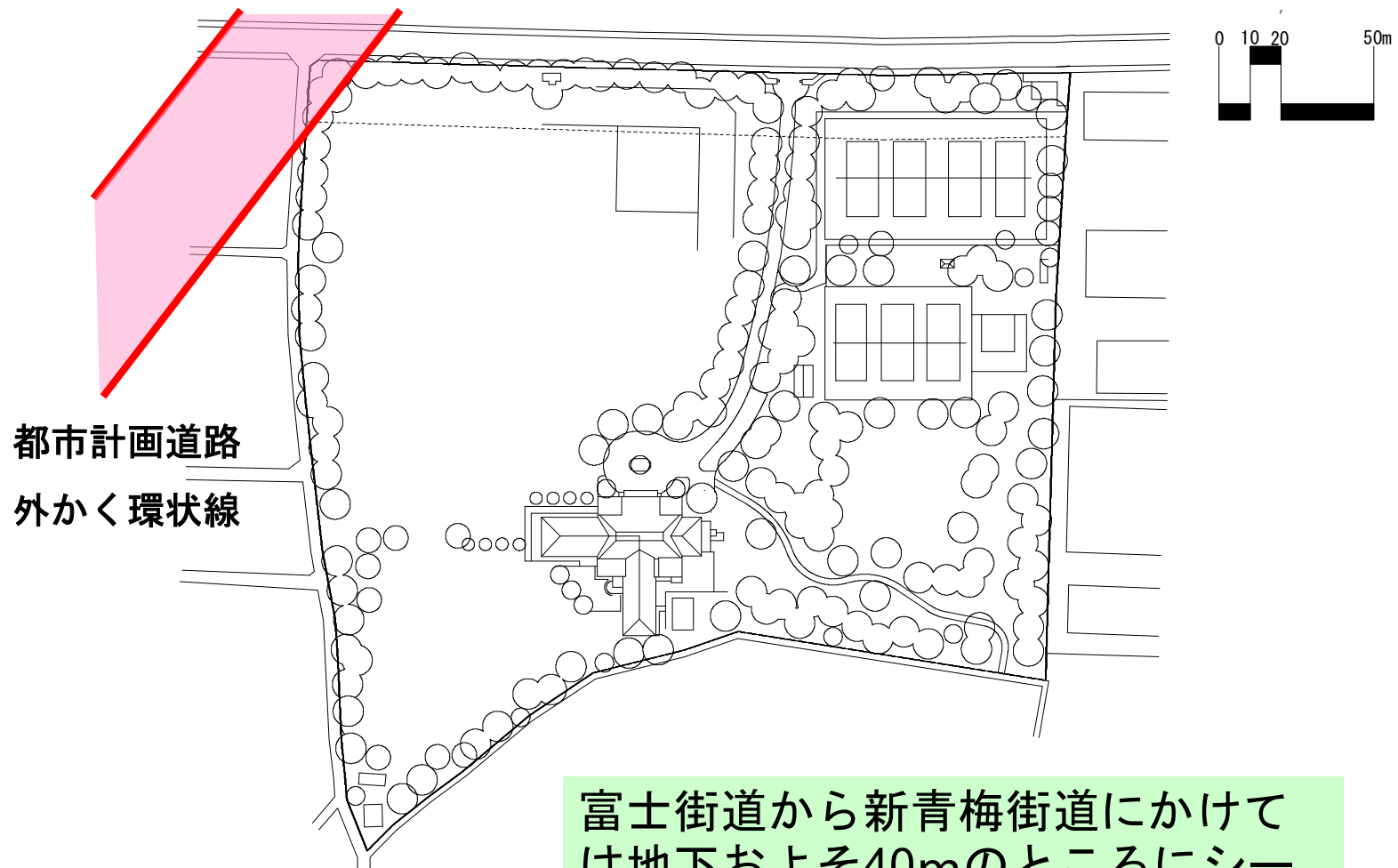
■計画地は三宝寺池の北側斜面上の台地であり、池とおよそ10mの標高差があります。

■三宝寺池は、武蔵野礫層と呼ばれる浅層地下水のある地層が表面に出ていることから、池となっているものです。

■三宝寺池における、この浅層地下水による湧水の量は減っており、現在は2箇所の間戸から水を汲み上げて水を確保しています。

■計画地はほぼ平坦な地形であり、ここに降った雨水を確実に地下水に戻すことが、三宝寺池の保全のためには重要です。

2. 東京外かく環状線



富士街道から新青梅街道にかけては地下およそ40mのところシーールド工法による地下トンネルが通る計画

計画のあらまし

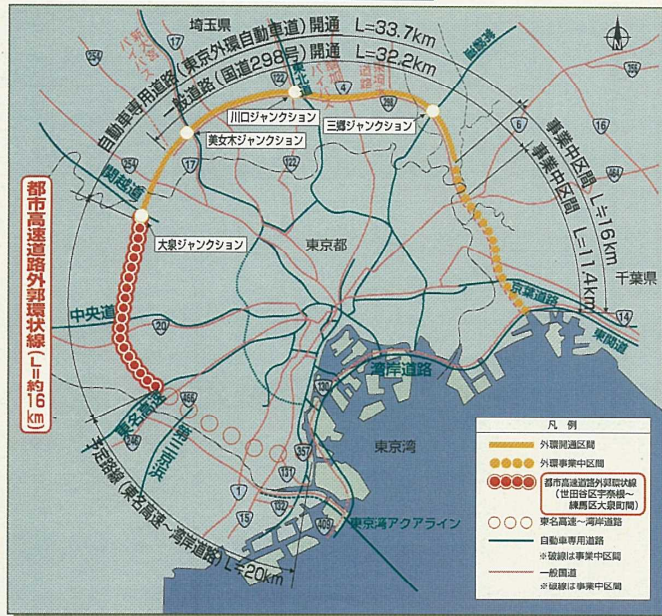
東京外かく環状道路は、都心から約15km圏を環状方向に結ぶ延長約85kmの自動車専用道路です。放射方向の道路を相互に連絡して都心方向に集中する交通を分散導入し、首都圏の交通・環境問題を改善する上で重要な環状道路です。

東京外かく環状道路の西側区間を形成する都市高速道路外郭環状線（世田谷区宇奈根～練馬区大泉町間）は、東名高速道路、中央自動車道、関越自動車道を結ぶ延長約16kmの路線です。この道路の整備により、

- 首都圏の慢性的な交通渋滞の緩和と環境の改善
- 円滑な交通ネットワークの実現による移動時間の短縮
- 拠点間の連携強化による都市構造の再編
- 生活道路への通過交通の減少による歩行者の安全性の向上

などの効果が期待され、東京や首都圏の都市再生に大きく貢献します。

「東京外かく環状道路」の全体計画と変更区間



変更区間の経緯

昭和 41年 7月	都市計画決定（東京・埼玉県境から東名高速まで）
昭和 45年 10月	建設大臣がいわゆる凍結発言
（平成 4年 11月）	和光IC～常盤道間供用
（平成 6年 3月）	関越道～和光IC間供用
平成 13年 4月	地下構造とした場合の「計画のたたき台」公表
平成 15年 3月	大深度地下の活用等の「方針」公表
平成 15年 7月～8月	「環境影響評価方法書」公告・縦覧
平成 17年 9月	計画の具体化に向けた「考え方」公表
平成 17年 10月	「計画概念図」公表
（平成 17年 11月）	常盤道～三郷南IC間供用
平成 18年 2月	「環境への影響と保全対策」公表

都市高速道路外郭環状線（世田谷区宇奈根～練馬区大泉町間）については、沿線環境への配慮などの観点から、構造形式を高架（高架）式から地下式へ変更し、あわせて適止かつ合理的な土地利用を図るため、立体的な範囲を定める等の都市計画変更を行います。変更計画の概要は以下のとおりです。

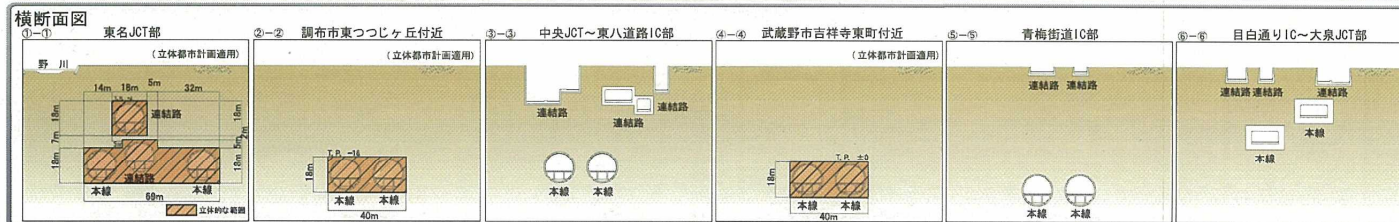
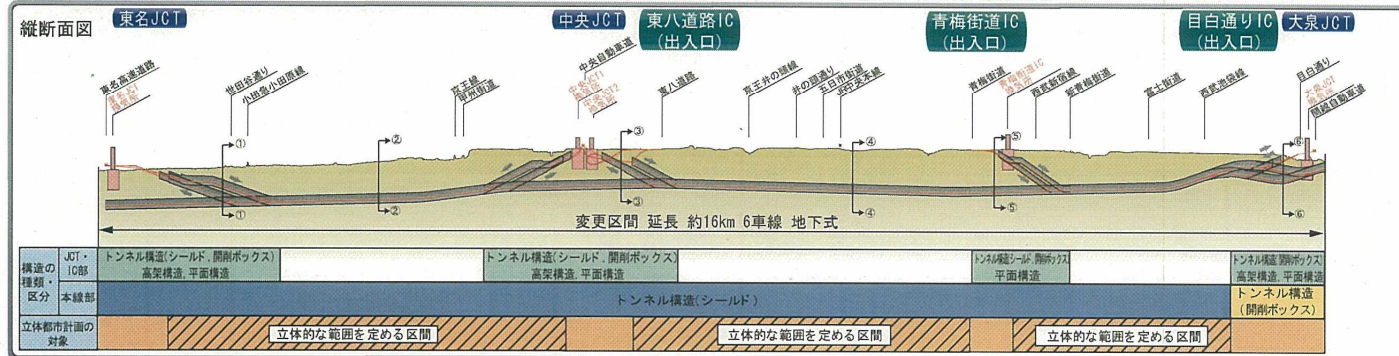
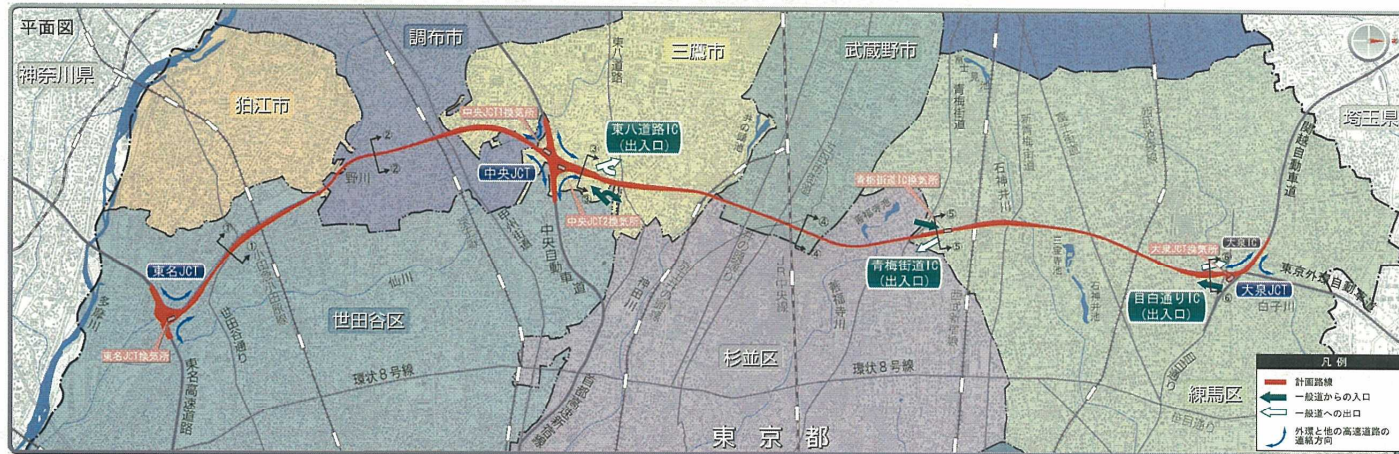
変更計画の概要

路線名	都市高速道路外郭環状線
延長	約16km
幅員	40～93m
道路の区分	第2種第1級（自動車専用道路）
車線数	6車線
設計速度	80km/時
出入口	3箇所 東八道路インターチェンジ（仮称） （東名高速道路側・関越自動車道側及び中央自動車道への出入口） 青梅街道インターチェンジ（仮称） （関越自動車道側への出入口） 目白通りインターチェンジ（仮称） （東名高速道路側への出入口）
換気所	5箇所 東名ジャンクション（仮称）付近 中央ジャンクション（仮称）付近 2箇所 青梅街道インターチェンジ（仮称）付近 大泉ジャンクション（仮称）付近
構造形式	地下式

※これ以降（仮称）は省略し、ジャンクションはJCT、インターチェンジはICと表記します。

なお、計画の変更に伴い、附属街路第1号線及び第2号線については延長及び終点位置を変更し、附属街路第3号線から第12号線までの計10路線は都市計画を廃止します。また、中央JCT部の三鷹3・4・11号北野仙川線（現三鷹3・3・11号北野仙川線）については延長、線形、幅員、名称等を変更します。

外郭環状線（世田谷区宇奈根～練馬区大泉町間）の概要



【本書に掲載した地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図、5万分1旧版地図及び20万分1旧版地図を複製したものである。(承諾番号 平18開復、第34号)】

水循環・地盤沈下

浅層地下水の水位の変化量は、地下水流動保全工法を実施することにより0.1m未満となり、影響は小さいと考えられ、地盤沈下への影響も小さいと考えられます。
また、深層地下水の水圧低下量は最大で約1~7kPaとなり影響は小さいと考えられます。

浅層地下水位への影響



用語の説明

浅層地下水：地表面から深さ約5~25mの立川礫層及び武蔵野礫層中に存在する地下水です。
深層地下水：立川礫層及び武蔵野礫層より深い位置の上総層群中の砂層及び砂礫層中に存在する地下水です。中央JCT及び東八道路IC周辺、青梅街道IC付近では浅層地下水より深い位置にあります。
kPa（キロパスカル）：圧力・応力の単位。1パスカルは、1平方メートル(m²)の面積につき1ニュートン(N)の力が作用する圧力または応力を示しています。1キロパスカル(kPa)は水頭で約10cmに相当します。

深層地下水水圧への影響

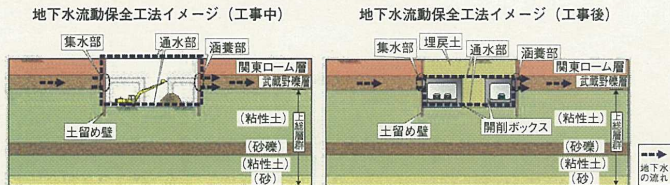


「本圖に掲載した地図は、国土地理院員の承認を得て、同院発行の5万分1地形図、5万分1旧版地図及び20万分1旧版地図を複製したものである。（承認番号 平18開復、第34号）」

主な環境保全対策等

地下水流動保全工法

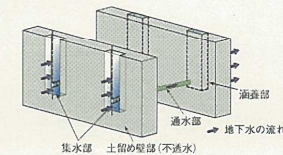
地下水流動保全工法は、構造物及び土留め壁により遮断される帯水層部分を地下水が流れる構造とし、現況の地下水流動状況を確保するため実施します。



シールドトンネル

シールドトンネルを採用することにより、地表の改変や地下水への影響等を極力小さくすることができます。

地下水流動保全施設（通水部）イメージ



建設中のトンネル（中央環状新宿線）



出典：東京ガスハンフレット